

2024 年 03 月 11 日作成

Ver.6.0

肺結節における thin slice CT による 10 年間の検討

1、研究の目的と意義

* 背景

肺の部分充実性結節は CT で偶発的に発見されることが多い。進行のおだやかなものは数年単位で緩徐に増大することがあり、CT で経過観察されることが多いです。小さな結節のため、特に 1mm 間隔程度の thin slice CT が推奨されています。これまで数年間のフォローの報告はありますが、10 年間経過観察したものはありません。

当院では 2006 年から thin slice CT を導入しており、thin slice での 10 年間のフォローが可能になっています。

* 目的

肺の部分充実型結節を 10 年間フォローした症例を検討し、そのうちどれだけの結節が性状に変化が現れ、増大したのかを評価します。

* 意義

どのような結節が 10 年の中で増大するのか、肺結節の経過観察に関する指針の 1 つになり得ます。

2、対象となる患者さん

以下の基準をすべて満たす患者さんです。

- ①2006 年 1 月 1 日以降に長崎大学病院で CT 検査を受けた方
- ②2020 年 12 月 31 日の間に 10 年間経過が追えている方
- ③肺結節の経過を 1mm の thin slice CT で観察することができる方

3、研究の方法

特別な追加の検査は必要ありません。

通常診療で得られた CT 画像データの中で、画像所見より長期間における肺結節の経過を検討します。

4、研究に用いる情報

①患者背景 初回 thin slice CT 時の年齢、性別、喫煙歴、肺癌の既往、経過

②CT 画像 通常業務内で撮影された CT で指摘された肺結節の性状および大きさ

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2025 年 3 月 31 日

6、外部への情報の提供

該当無し

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院 放射線科と長崎大学大学院臨床腫瘍学講座で実施します。

《研究責任者》

長崎大学大学院医歯薬総合研究科 臨床腫瘍学講座 芦澤和人

8.お問い合わせ先

長崎大学大学院 医歯薬総合研究科 臨床腫瘍学講座 岩野佑介

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7624 FAX 095（819）7624

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7616

受付時間 ： 平日 8：30～17：00（祝・祭日を除く）